



# LP鋼板(テーパプレート)

## 概要

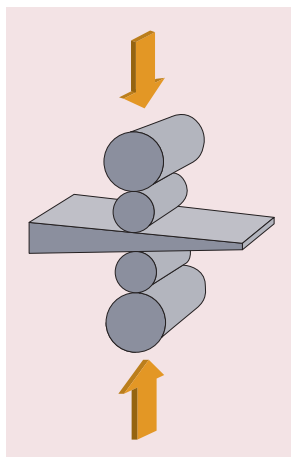
LP鋼板(Longitudinally Profiled Steel Plate)とは、長手方向に直線的に板厚を変化させた鋼板であり、最近の厚板圧延技術の進歩により、製造が可能となりました。

LP鋼板を構造物に用いると、溶接箇所への減少や重量低減などによるコスト削減が可能となります。

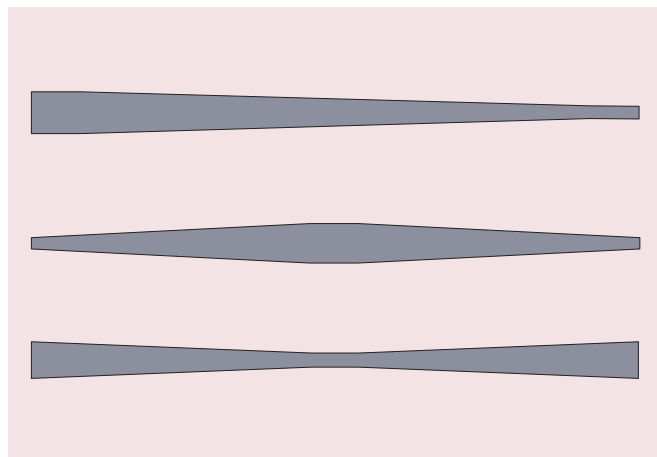
## 材料特性

### ① 製造法

圧延法による  
LP鋼板の製造



LP鋼板の基本形状(長手方向断面)



### ② LP鋼板の製造可能寸法

最大板厚差	: 25-30mm	最大勾配	: 4mm/m
最小薄部板厚	: 10-15mm	最大厚部板厚	: 100mm
全長	: 6~25m	幅	: $\geq 1.5$ m

### ③ LP鋼板への適用鋼材規格

JIS G 3101 SS400, JIS G 3106

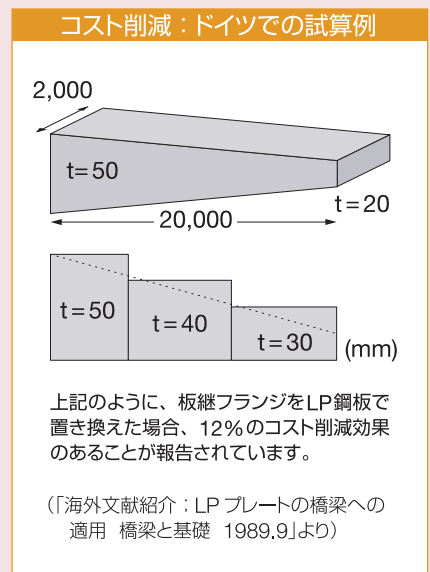
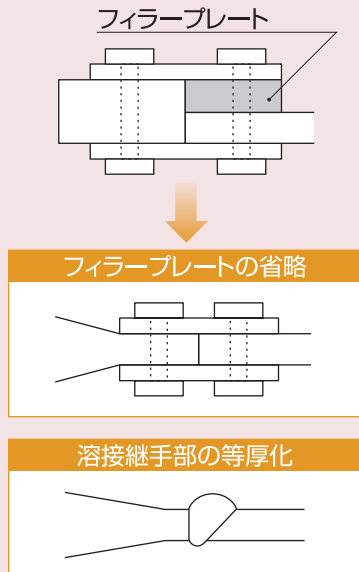
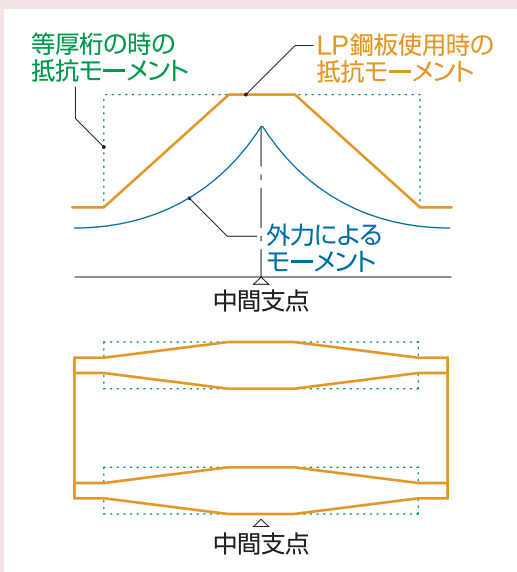
## 効果

### ●必要断面力に応じた合理的な板厚構成

- ① 等厚設計桁に比べて、鋼材の重量を低減できます。
- ② 特に断面の大きな2主桁橋で、効果が大きくなります。

### ●接合部の等厚化

- ① ボルト接合部でフィラープレートの省略ができます。
- ② 溶接継手部のテーパ加工が不要となります。



## 適用例

桁フランジへのLP鋼板の適用例(イメージ)を示します。

